

第4回 那珂川町庁舎建設等検討委員会会議録

開催日時	平成23年12月2日（金）午後1時34分から3時40分
開催場所	那珂川町馬頭総合福祉センター研修室
出席委員	青山敏明、加藤陽、川上要一、橋本操、大金市美、阿久津武之、矢内修、磯野均、岡一也、和泉隆夫、梶原良成、山本示、塚原章一
欠席委員	今泉繁良、笈良夫、永森正俊、深澤茂樹
事務局	佐藤副町長 [総務課] 益子課長、佐藤係長、小松係長、菊地主事 [企画財政課] 藤田課長
傍聴人	0人

1 開 会

2 委員長挨拶

3 報告事項

1) 第3回那珂川町庁舎検討等検討委員会において確認された事項について

○ 資料1に基づき事務局より説明

[質疑]

(E委員)

前回に質問すればよかったのですが、駐車場の規模が160台となっていますよね。山村開発センター前の駐車場を数えたら131台の駐車スペースがありますが、本日駐車スペースを見渡すと大体10台分ぐらいしか空いてないと思うんです。実際160台では、これから総合庁舎になるわけですから足りないのではないかと思いますよ。また、場合によっては大型車や中型車の駐車スペースも必要なのかなと思います。

(委員長)

それらの詳細については、今後検討していくことになると思いますが、事務局から何かありますか。

(事務局)

今後そういったことも含めまして、引き続き検討していきたいと考えておりますので、ご理解をいただきたいと思います。

(M委員)

確認ですが、消防庁舎の用地についてもこの委員会で決めるのですか。

(副町長)

消防庁舎の用地については当初にもお願いを申し上げたと思いますが、庁舎用地と併せて当委員会においてご検討いただければと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

(委員長)

ほかにご質問ございませんか。質問がないようですので、会議次第4の現地調査に関する概要説明に入らせていただきます。

4 現地調査に関する概要説明

- 1) 新庁舎建設に係る想定される用地について
- 2) 消防庁舎建設用地に関する概要について

(委員長)

最初にお諮りさせていただきますが、今回の委員会から、新庁舎建設において最も重要な項目でもある建設候補地の選定についてご検討いただくわけですが、選定いただきます用地につきましては民有地も含んでおります。それに対する対外的な影響が大きいものと考えられますことから今後、候補地の選定をいただくまでの間、当委員会につきましては非公開といたしたく考えております。

なお、候補地が決定した後は候補地の選定経過についての情報を公開いたしますので、委員の皆様にもその旨をご理解いただき、慎重な姿勢において協議・検討をお願いしたいと思っておりますが、いかがでしょうか。

[「異議なし」と言う人あり]

(委員長)

異議がないようですので、今後、候補地選定が決まるまでは非公開としたいと思います。

なお、今日は傍聴人がいませんが、傍聴人が来たとしてもその旨をお伝えしたいと思います。それでは、1) 新庁舎建設に係る想定される用地について議題といたします。事務局の説明を求めます。

- 資料2-1-1・2及び資料2-1-3・4に基づき事務局より説明
- 資料4に基づき事務局より説明

[質疑]

(0委員)

山村開発センター敷地に建替える場合は、現在の山村開発センターの建物を取り壊して

建てるということになるのでしょうか。

(事務局)

仮に現在の山村開発センター敷地に建設ということになれば、公民館施設として需要があるため協議が必要になってくるのはもちろんではありますが、現在の建物の状況は既に建築してから40年ほど経過し耐震補強をしていない状況でございます。代替施設をどうするかについては別途協議が必要でございますが、基本的には取り壊しをし、そこに建設するという考えであります。

(0委員)

そうすると、山村開発センターの持っている機能をどこかに移転しなければならないという問題が出てくると考えてよろしいでしょうか。

(事務局)

その機能につきましては、この検討委員会の中で検討させていただくことになるかと思えます。

(C委員)

庁舎用地についての候補地が7箇所ありますが、どこか1箇所に決まったとした場合には、残りの6箇所の候補地は消防庁舎の候補地にはなり得るのですか。

(事務局)

想定される用地④番、⑤番、⑥番及び⑦番につきましては消防庁舎の考え方とリンクしているところがあるため、可能性でございます。それ以外の部分については、難しい状況でございます。

(委員長)

その3箇所については、消防庁舎の用地にするというのは難しいということですね。

(C委員)

旧水産試験場敷地は約13,000㎡あるので、ここを消防庁舎の用地としてもいいのかなと。

(事務局)

庁舎用地の4番は、消防庁舎でいう4番の舟戸と同じ場所でございますから、どちらに

選ばれるかによっては変わってくると思います。

(G委員)

那珂川町の道路網の中心点はどこになるのでしょうか。

(委員長)

幹線道路の中心点は考えてありますか。

(事務局)

那珂川町の中心点と両庁舎の中心点については、図面に記載いたしましたが、道路網の中心点は想定しておりませんでした。

(G委員)

例えば消防庁舎を町の中心地に持ってきて、ここから町の端まで車で何分かかりますよと、そういうことを考えた場合の中心という意味だったんですが。

(事務局)

所要時間だけを考えると今の馬頭分署付近になるかと思います。馬頭地区の場合には大那地地区や大山田上郷地区、小川地区の場合には上芳井地区が一番遠くなるのかなと思います。道路の所要時間を考えると場所的には馬頭分署付近になるのかなという気はしております。

(O委員)

候補地がいくつかありますが、大半は川近くの低地の部分ですよね。考え方によっては丘陵地も想定し得ると思うんです。消防庁舎については難しいかもしれませんが、メリット・デメリットはあると思いますが、役場庁舎については可能性があるのではないかとと思うんですが。その辺はいかがでしょうか。

(事務局)

想定される用地を検討する上で丘陵地についても考えたところがございますが、山を開発する工事関係を想定すると、ここに記載してあるのは平場を中心に想定したということでもあります。

(委員長)

今回の大震災で丘陵地が相当動いたというところもあります。丘陵地の場合、どこまでパイルを打つと基礎が安定するのかということも危惧しなければならないと思います。そ

れを考えての提案だと思います。ほかに皆さんから案があれば、それもつけ加えて候補地として見ていきたいと思いますが。

(M委員)

那珂川町のこれからの長期的な振興等を想定して、この辺という具体的な案はないのでしょうか。

(副町長)

位置を決めた段階で、周辺の開発や今後のまちづくりを考えていかなければなりません。現段階で町のほうでここというのは特にありません。委員さんの自由な発想でご検討いただければと思います。

(委員長)

それでは、皆さんにお配りしている用地の評価調書がありますが、それについて説明をお願いします。

(事務局)

お手元に資料2-2-1・2を準備いただきたいと思います。本評価項目の設定につきましては官庁施設の基本的性能基準というものが、これは国において平成18年3月31日付で設定されたものであります。この調書の大項目に挙げている1番社会性、2番環境保全、3番安全性、4番機能性及び5番経済性という項目につきましては、その基準を引用させていただきました。中項目や評価の視点につきましては、那珂川町の特性を考慮した上で事務局において設定させていただきました。各委員におかれましては、各項目についての評価の視点を参考にいただきまして、各委員の主観に基づき自由な発想で評価をいただければと考えるとございます。

なお、この評価調書についての詳細につきましては、改めて基準をお示ししたいと思いますので、ここでの説明は省かせていただきたいと思います。算出された評価点数につきましては、あくまでも候補地を選定いただくための参考資料としての位置付けをさせていただきたいと考えております。最終的な候補地の決定につきましては、当委員会の総意としてご判断いただきたいと思いますので、決してこの点数が高いからそこに決定するという資料ではございませんので、ご理解をいただきたいと思います。

また、本評価調書につきましては、これからご案内する現地を確認いただきまして、返信用封筒にて送付いただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

5 現地調査

1) 新庁舎及び消防庁舎建設に係る用地の調査

(委員長)

それでは、新庁舎及び消防庁舎建設に係る用地調査に入らせていただきます。現地調査終了後、本日は解散となりますが、本日の現地調査結果を踏まえまして今月中に再度、当委員会を開催したいと思います。

では、現地調査のほうをお願いいたします。

6 その他

7 閉会